



# 令和8年 **LGBTQ+** の基礎知識

～だれ一人取り残さない医療の実践～ 参加費 無料 | 当日参加 **可**

**9月18日** **金** 午後5時半～午後6時半 宮崎善仁会病院 講堂  
**19日** **土** 午後2時～午後3時 延岡市社会教育センター3階 研修室4

対 象 宮崎県内の看護師、医療関係者、看護学生、医療事務職、行政関係者、関心のある方

お問合せ先 / 事業担当 事業代表者 教授 久野 暢子 0985-59-7739 nhisano@mpu.ac.jp  
事務担当 志賀 由美子 0985-59-7833 center@mpu.ac.jp



申込はこちらから  
どなたでも  
ご参加いただけます

令和5年にLGBTQ+の当事者から「医療関係者に私たちのことを知って欲しいのですが、思いを届けることが難しいです」という切実な声が主催者へ寄せられました。それをきっかけに、当事者の声を医療関係者へ届けるための地域貢献事業が宮崎県立看護大学で始まりました。令和6年12月に実施した宮崎県内の看護部門責任者への調査では、医療現場において当事者の困りごとに十分気づけていない可能性が示されました。昨年の講演会では、多くの参加者から反響をいただき、継続的な学びの必要性を改めて実感しました。令和8年度も引き続き、LGBTQ+の基礎知識と当事者の声を通して、医療現場でできる配慮について考える講演会を開催します。宮崎県の「だれ一人取り残さない医療の実践」を目指して、まずは知ることから始めてみませんか。

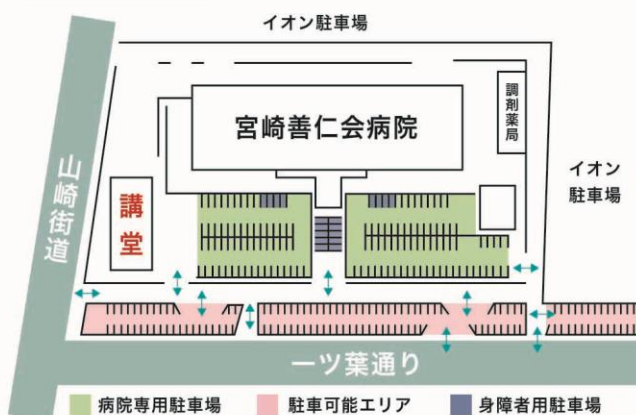


講師：武田 裕子氏

順天堂大学大学院医学研究科・教授

筑波大学医学専門学群卒業。米国にてプライマリ・ケア研修を行い米国内科専門医資格取得。帰国後、筑波大学・琉球大学・東京大学・三重大学で地域医療教育及び国際協力に従事。ロンドン大学(2010-13)・ハーバード大学(2013-14)研究員を経て2014年より現職。健康格差をテーマに医療者教育に従事。SOGI(性的指向・性自認)によらず安心して医療を受けられる病院を目指す順天堂医院で、「SOGI 相談窓口」を担当している。日本医学教育学会理事、日本プライマリ・ケア連合学会理事。編著書に『LGBTQ+医療現場での実践 Q&A』(日本看護協会出版会)、『外国人診療に「やさしい日本語」』(南山堂)ほか。

## 宮崎会場 / 駐車場



【主催】宮崎県立看護大学 地域貢献等研究推進事業「看護師に向けた性的マイノリティへの受療行動支援事業」  
【後援】宮崎県 公益社団法人宮崎県医師会 宮崎県看護協会 宮崎県教育委員会 宮崎市